

岩谷堂高等学校 吹奏楽部OB会

会報

第17号 1987.11.25 発行

岩高吹奏楽部
OB会事務局

☎023-11

江刺市南大通り7-44

江刺郵便局私書箱7号

あの感動と喜びを

旭江支部長 藤 沢 幹 也 (S50年度卒)

1年ぶりの再会。1年ぶりのステージ。10年前後の先輩から、10年前後後輩まで約20名。2、3日の練習とは思えない出来。「サクラ」と分かっているもううれしい、アンコール。久しぶりのステージでの感動。たった3年間の在籍がOBということだけで、こんな大きな輪になる。

今年はOBバンドの人数も整い（OB会の総人数が増加）フルバンドで、1人も欠ける事がなく、演奏。そして好評を博した。来年はOBバンドの参加者を増やし、できれば吹奏楽の編成で、ステージに上がりたいものである。

現役の連中の緊張感が我々にも伝わってくる。

1つの曲にも、一喜一憂し、外野席もステージの現役と一体になる。自分達も汗を流し、涙を流し、ひとつのステージ、1回の定演を創り、先輩達がそうであったように、後輩達にも、このように伝統と歴史が刻まれるのであろう。そして3回の定演を乗りきると、自分の技量は棚に上げ、あーだ、こーだと言いながら、総会後大きな顔で、酒を飲めるのであろう。

来年は、OB会設立20周年とのこと、仕事の都合、家庭の事情等あるかとは思われるが、OB会全員で、あの感動と喜びを分かち合いたいものである。

コンクール県南地区大会を振りかえって

西吹連コンクール事務局 及 川 見 貴 (S53年度卒)
一関農業高校教諭

岩高の演奏が始まった。何か、ホッとしたような安ど感が会場全体をつつみこんだ。（そうなんだ！こういう音が聞きたかったんだヨ！）12分間のコンサートが終わると、ホーというため息の後、大きな拍手がわき上がった。

高橋和夫先生と岩高生の創り上げる音楽は、いつでも、しっかりとした土台の上に、よりていねいに積み重ねられたハーモニーがある。役員席で私の隣にいた一関商工の工藤先生が「和夫先生の人柄がそのままあらわれた音楽だね。」とささやいた。どの団体も地区大会突破をめざし、一種異様な雰囲気の中で行なわれるコンクールで、岩高の演奏は常にマイペース、ひたすら音楽そのものだけを追求しているように思える。まさに、和夫先生の情熱そのものなのだ。

（裏話をひとつ）コンクールの事務局を担当す

る時、いつも頭を悩ますのが審査員の人達です。西磐井吹連の会議の中では、「岩高の高橋和夫先生が今年定年をむかえられ、自宅で悠々自適の生活を送っておられるはずだから、今年の審査員にお願いしましょう」という意見が出されそのように進める手はずでした。だから岩高から送られてきた参加申込書の中に和夫先生の名前を見つけたときは、大いにあわてました。それから、あちこち他の審査員を探すはめになったのです。

昭和62年度全日本吹奏楽コンクール岩手県南地区大会は、昭和62年8月8日(土)、9日(日)の両日、岩手県立一関第二高等学校体育館で行なわれた、岩高は課題曲「コンサートマーチ'87」自由曲 G・ホルスト作曲「吹奏楽のための第一組曲変木長調」、銀賞を受賞した。

評議員依頼・支部活動にあたってのお願い

OB会員の皆様には日頃から事あるごとに母校吹奏楽部とOB会発展にお力添えを戴き深く感謝申し上げます。

さて、来年OB会設立20周年を迎えるにあたり、機関誌「奏苑」の発行や記念行事等を企画したいと思いますが、その中で、OB会員の名簿作成にご協力いただきたく、各卒業年度毎に評議員を事務局で選出いたしましたので、よろしくお祈いします。

尚、当分の間休んでおりました支部活動を復活させ、事務局との連絡を密にしてOB会員の親睦を深めたいと思います。各支部の代表に選出された方には、大変ご苦労様ですが、よろしくお祈いします。

▶ 評 議 員 ◀

37	高橋貞勝	46	伊藤裕子	55	高橋 晋
38	} 千田辰男	47	伊藤豊文	56	高橋浩之
39		48	菊池伸洋	57	高橋 力
40	本庄和也	49	佐藤敏明	58	三品洋子
41	遠藤一夫	50	藤沢幹也	59	小沢郁子
42	二階堂修	51	及川 啓	60	只野元一
43	及川民男	52	佐藤浩之	61	石川幸枝
44	高橋幸治郎	53	及川昌浩		
45	佐賀克也	54	遠藤ひろみ		

▶ 支部代表者 ◀

胆江支部 藤沢幹也 仙台支部 高野正浩
 関東支部 伊藤三郎 盛岡支部 菊地憲一

詳しい事については、後日事務局からご連絡いたします。

ごくろうさま 和夫先生

今年も例年通り、定演終了後、OB会の総会懇親会が行われましたが、もう一つ いつもと違う大きなイベント(?)がありました。それは、今春岩高を定年退職なさった高橋和夫先生を囲む会というもので、役員会等で何度も案を練って準備しただけに、とても良い企画でした。桜井先生の御挨拶を始め、思い出を語るスピーチ、和夫先生が指揮なさっていらっしゃる写真を使ったパネル時計の記念品贈呈、和夫先生の御挨拶と、大変な盛り上がりで、その勢いのま



OBバンドのメンバーです

島 山 公 南 (S56年度卒)

ま懇親会に突入しました。恒例の年度別自己紹介も、今年は若い方から順にステージに上がって、近況等を報告し合いましたが、本当によくこれだけの人数が集まったなあと改めて感心しました。私は仕事の都合で3年続けて欠席してましたので余計に嬉しかったのです。

最後に全員で讃歌を歌った時には本当に感激しました。年代に関わりなくみんなが一つになれる音楽。本当に素晴らしいですね。ブラバンに入って良かったと、つくづく思った一日でした。



ありがとうございました

OB会員—今日、この頃 (定演・返信葉書より)

高橋 貞勝

いつの間にか、岩高を卒業してから24年間も経ってしまいました。楽譜を読めないながらも、手持ちの楽器が大分増え、10数種類になり、耳を頼りにレコードやFM放送と合奏を楽しんでいます。楽器持参で遊びにどうぞ。

菊地 憲一

40歳も近くなると1年の経つのが本当に早く感じます。相変わらず元気にやっています。

佐藤 俊隆

現在、盛岡市月ヶ丘の国際交通というタクシー会社で夜勤乗務員をしております。4日に一度の休日は松尾村のナチュラルサウンズというバンドの練習日になっており、ベースを担当しています。下手なベースで、バンドの土台がぐらついているのが、現状です。

佐賀 雄次

私が高三の時は第5回の定演でした。それからもう18年、当時の定演のプログラムをなつかしく取り出して見ております。

伊藤 三郎

6月に松戸に引越しました。仕事も4月から、「公害防止事業団」に出向し、だいぶ環境も変わりました。

後藤 俊恵

3月に二男が誕生し只今子育ての真っ最中です。

福田きく子

現在5歳、2歳、9ヶ月の3人の子供の世話でくたくたです。近くへおいでの節はぜひお寄り下さい。

田中 紀子

4月に二女、絵美が生まれ、殺人的猛暑の中、てんやわんやの毎日です。今年はまだ帰省は無理ですので、来年は是非聴きに行きたいと思えます。

沼田 尚子

今、仙台社会保険病院へ入院中。まだ長くかかりそうです。



横山 貞二

千葉での生活にも慣れ、毎日元気に過ごしております。

竹村 幸枝

そのうち在京の方々とだけでもお目にかかりたいと思います。是非機会を作ってほしいなあなんて思っています。

和川 勝栄

千修吹奏楽団（印刷会社）という所で、いまだにラッパ吹いています。

小野寺弘子

5月に男児を出産しました。

高橋 明美

—OBとして陰ながら応援している次第です。

佐藤 ちが

二度目の梅雨も明け今朝も暑いです。ここ二週間、朝風呂に入ってましてサッパリした気持ちで仕事しています。横浜の空から応援しています

門脇 美佳

2月20日から泉黒松郵便局で働いています。それと同時に、一人暮らしを始めました。好き勝手なことをしてますが、遊びに行こうにも一緒に遊んでくれる人がいません。地下鉄のおかげで仙台にも出やすくなったのになあ……。だから最近は人のあんまりいない、第2・3土曜日の午前にビリヤードをするクセがついてしまいました。

後藤 礼子

水沢市大町の「コーヒー軽食・レトロ」にいますので、みなさんいらして下さい。

佐藤久美子

現在、合同庁舎で働いています。(臨時職員)

菊池 節子

就職戦争突入を目の前にしてあせるわけでもなく、のんびりとした生活をおくっています。学生生活も残りわずかなので、充実した日々を、と思っているところです。

及川 説子

私はどうにか大学生活をおくっています。今は夏休みで帰ってきています。夏休み中に車の免許をとりたいです。

佐藤 浩美

現在、からす川音楽集団という一般バンドに所属しています。

菊池 聖子

楽器は吹きたい!!と思っても忙しいし、楽器はないし、貧乏学生をしています。



お 知 ら せ

＝ 今後の吹奏楽部と OB会の行事予定 ＝

〈1988〉

- 1月17日 アンサンブルコンテスト胆江地区大会 (会場未定)
- 1月30～ アンサンブルコンテスト岩手県大会 (岩手教育会館)
- ～31日 会
- 2月5日 予餞会
- 3月7日 卒業式
- 3月25日 離任式
- 7月 奏苑第5号発行予定
OB会設立20周年記念行事予定
- 9月 岩高創立70周年

《62年度OB会費納入について》

OB会員の皆様には、OB会費として年間、1,000円納入頂いておりますが、直接事務局へお支払いできない方は、同封の払込通知票で、お近くの郵便局へお振り込み下さい。なお、払込通知票のウラ面は、通信欄になっております。近況や情報、そして住所の変更などなんでも事務局の方へ、およせ下さい。



編 集 後 記

予定では10月に出すはずだった会報ですが、2ヶ月も遅れてしまい、324名のOB会報愛読者の方々に、ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し分けございませんでした。会長に成り代わり私、大滝詠一(梁川出身)が、深くお詫び申し上げます。

私事になりますが、只今、ナイアガラトライアングルVol.3の製作の為、アイデアを駆使しております。OB会設立20周年に合わせて発表したいと思っております。それでは、次のLPそして「奏苑第5号」であいましょう。

バイバイ!! (文責: ポール "NAGARA" 牧)